

俳句結社「桔槔吟社」 創立100年を祝して



第8号
令和4年1月号

―四季のうつろい・時のうつろい―を開催します。



須賀川俳壇を支えてきた桔槔吟社は、長きにわたる、中央俳壇の俳人を招き、交流を図ってきました。その縁で現在までに当館に寄贈された多くの俳人の貴重な作品約40点と関連資料を「四季」という視点から紹介します。

主な出品作家

青柳志解樹・岡本眸・片山由美子・神野紗季
岸本尚樹・高野ムツオ・照井翠・原和子
正木ゆう子・矢島渚男・山田みづえ

同時開催

春を彩る
人形たち

会期中の関連事業
100年を寿ぐ ～シリーズ連句の試み

須賀川と碧梧桐
明治二十六年、正岡子規が芭蕉の足跡を慕って、須賀川を訪れ、道山壮山宅を訪ねています。同じく河東碧梧桐は、明治三十九年に「三千里」の旅程で福島を訪れ、壮山宅を訪ねます。この夜は、勝誓寺の岡部句童(宗城)宅に郡山の同人と泊まりました。



句幅



虚子

遠山に日の当りたる枯野かな



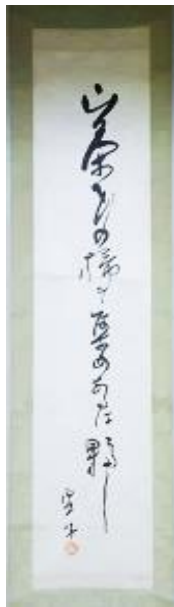
テーマ展

虚子と碧梧桐

2/21
まで

(個人蔵)

かわひがしへきごとう たかまきよし
河東碧梧桐と高浜虚子はともに愛媛県松山市の出身。近代俳句の革新者正岡子規の後輩に当たります。二人は子規の俳論で激賞され、若手俳人として有名になりますが、大きく道を違えていきます。



句幅 山茶花の掃きあつめあるは夥し

虚子

(当館蔵)

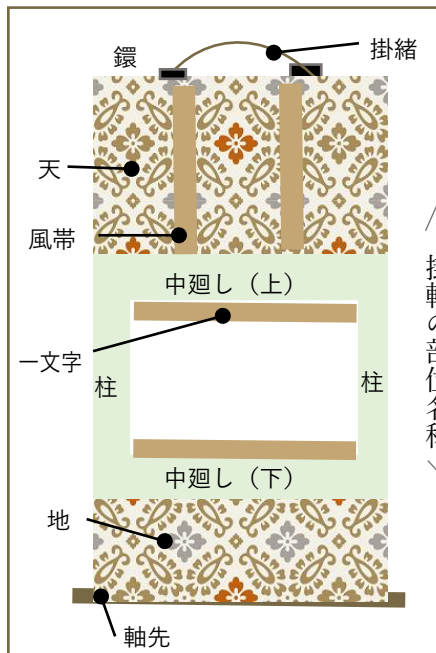


句幅 水仙に水させば我明か也

画 碧梧桐

(個人蔵)

画 鴨下兆湖

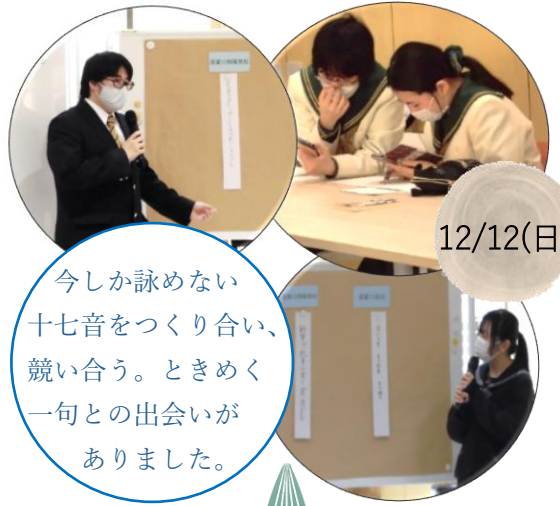


掛軸の部位名称



すかがわ俳句ラボ

2021



12/12(日)

今しか詠めない
十七音をつくり合い、
競い合う。ときめく
一句との出会いが
ありました。



すかがわ大人塾

第三回 はじめての茶道

相手やものを
大切に想うこと、敬うこと、
穏やかであること。
お茶の魅力に触れ、たのしく
抹茶をいただく
はじめての方の
ための教室です。

3/3(木)
3/17(木)

講師
柳沼宗文先生
藤田宗美先生
(須賀川茶道連合会
表千家)

参加費
500円

風流のはじめ館かわら版 第8号



こども和文化塾

第三回 おいしいお茶の 飲み方教室

親子でおいしい
お茶(煎茶・玉露)
とお菓子をたのしく
いただきますか?

3/6(日)
3/13(日)

講師
平尾貴園先生
(須賀川茶道連合会
煎茶道方円流)

参加費 1人
500円

編集・発行/須賀川市風流のはじめ館

〒962-0832 福島県須賀川市本町81番地4 電話0248(72)1212



1月のオープンギャラリー

だんごさし



すかがわ昔話の会のご協力により、
南瓜、よもぎ、ビーツで色づけた団子を
丸めて、季節の和文化に親しみました。



言の葉

ふくちや
福茶

正月や節分の日に縁起
を祝って飲むお茶。

茶の中に黒豆や山椒、
梅干しなどをいれて
煎じます。

七十二候
二月四日から八日ごろ

東風凍を解く

北風がふつとやわらぎ、川や湖の
氷が解けたし、ほのかに春を感じさ
せてくれる風を東風といえます。

立春

はじめて
春のきざしが
現れてくる
ころです。



俳句募集

募集期間 通年
選句会 年2回(8月 2月)
部門 一般の部・子どもの部
学校の部

第二回選句会
年間選句会

1/3(月)です。

発表は、2月中旬を
予定しています。



ご協力団体と高等学校

稲田絵手紙クラブ季風会・岩瀬書芸連盟・絵てがみ
あやめ会・桔槔吟社・須賀川川柳会・須賀川短歌会・
須賀川美術協会・須賀川高校・清陵情報高校・須賀
川桐陽高校 (五十音順)